

受験 番号	
----------	--

平成 28 年度
公立高等学校入学者選抜
【前期】
学校独自検査問題〈普通科〉
(宮城県多賀城高等学校)

小論文

(資料読取型)

(第 4 時 13:00～14:00)

【問題用紙】

問題は次のページから始まります。

第一問 次の会話文は多賀城高校の生徒と先生の会話です。この会話文を読んで、あとの1～3の問いに答えなさい。

生徒：富岡製糸工場の(a) 世界遺産 登録が話題になりましたが、世界遺産登録とは何ですか。

先生：人類共通の宝であると考えられる遺跡や自然生成物を、次世代へつなげるために世界遺産として登録し、各国の遺産保護活動を援助していくものです。UNESCO（ユネスコ）という国際連合の機関が、世界遺産条約にもとづき登録を行っています。

生徒：国際連合ですか。授業で国際連合は(b) 平和 のための国際組織であると教わりました。

先生：そうですね。確かに、国際連合の第一の働きは、世界の平和と安定の維持と実現です。しかし、同時に、経済、社会、文化、環境、人権などの分野で世界の人々の生活の向上を目指した活動をしています。UNESCOは日本語訳で国連教育科学文化機関といいます。

生徒：だからUNESCOが文化遺産や自然遺産の登録を扱っているのですね。その他に何か身近なところで、国際連合の活動はありますか。

先生：近頃、世界で(c) 自然災害 が多く発生しているのが気になりますが、例えば、昨年3月に、仙台で開かれた第3回国連防災世界会議は、国際連合の活動の一環です。

生徒：そういえば、テレビや新聞で報道されていました。多賀城高校の生徒も参加していたのを覚えています。

先生：この会議では、本校生をはじめ、宮城県内の高校生が大いに活躍しましたね。国際社会や国際機関が、本当に身近なものになってきていますね。

- 1 下線部(a)に関連して、**写真Ⅰ**は世界遺産であるパルテノン神殿ですが、酸性雨で表面が溶け出しているとの報告があります。このことについて、あとの(1)～(5)の問いに答えなさい。

写真Ⅰ パルテノン神殿



〔UNESCO（ユネスコ）HPより〕

地図Ⅰ



- (1) **写真Ⅰ**の**パルテノン神殿**は、**地図Ⅰ**中の★印の国にあります。この国名を次の(ア)～(エ)から1つ選び、記号で答えなさい。

(ア) ドイツ (イ) フランス (ウ) イギリス (エ) ギリシャ

(2) 酸の反応の説明として正しいものを、次の(ア)～(エ)から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 物質が熱や光を出しながら激しく酸化する中和反応を起こす。
- (イ) うすい塩酸をアルミニウムや鉄などの金属に注ぐと金属は泡を出して溶ける。
- (ウ) 酸化銅に炭素を加えると銅と二酸化炭素ができる。
- (エ) 塩酸と二酸化炭素を混ぜ合わせると水ができる。

(3) 次の①～③の文は、酸性の水溶液による色の変化について述べた文です。文中の空欄（ あ ）～（ う ）にあてはまる最も適切な色を、次のa～eからそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 青色リトマス紙が（ あ ）に変わる。
- ② BTB 溶液の色は（ い ）になる。
- ③ 赤いフェノールフタレイン溶液が（ う ）に変わる。

a 赤色 b 青色 c 黄色 d 緑色 e 無色

(4) 酸性雨について、雨が強い酸性を示すようになる理由を答えなさい。

(5) 酸性雨による自然環境への影響の例を1つ答えなさい。

2 下線部（b）について、次の(1)～(2)の問いに答えなさい。

(1) 国際連合の主要機関のうち、世界の平和と安定と維持について最も中心的役割を果たしている機関の名称を答えなさい。

(2) 次の写真Ⅱは、国際連合の平和に関する南スーダンでの活動に、日本の自衛隊が参加している様子です。この活動のアルファベットの略称を、あとの(ア)～(エ)から1つ選び、記号で答えなさい。

写真Ⅱ 南スーダンで活動する自衛隊



〔防衛省HPより〕

- (ア) NGO (イ) NATO (ウ) PKO (エ) TPP

- 3 下線部(c)に関連して、近年、火山活動の活発化が話題となっていますが、過去の堆積^{たいせき}物を研究することによって、過去のどのような時期に火山活動があったのかを明らかにすることができます。火山活動の時期を知ることができる堆積岩を、次の(ア)～(エ)から1つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 石灰岩 (イ) 凝^{ぎょう}灰^{かい}岩 (ウ) れき岩 (エ) 花崗^{かこう}岩

第二問 次の表は多賀城高校が ESD（持続可能な開発のための教育）として全体で取り組んでいるものです。この表を読んで、あとの問いに答えなさい。

表 多賀城高校の ESD（持続可能な開発のための教育）

プログラム	内 容
① 防災学習プログラム	東日本大震災の検証や、日本・世界で起こる災害被害を調べ、防災・減災の基本知識を身に付け、東日本大震災の教訓や防災・減災に強い街づくりを発表、発信する。
② 自然科学学習プログラム	自然科学の原理や自然環境の多様性について、実験や野外実習を通し、科学的視野から調べ、理解し、その研究成果を発表、発信する。
③ 国際理解プログラム	海外生活者や外国人の話を聞き、異なる文化や価値観をグループ学習や作業型研修を通して理解し、その研究成果を発表、発信する。

問い あなたが取り組んでみたいプログラムを表中の①～③から 1 つ選び、番号を答えなさい。また、そのプログラムに取り組む上で、どのような資質・能力が必要だと考えるか、プログラムの内容に触れながら、その理由を 320 字以上 400 以内で述べなさい。

学校独自問題 出題のねらい

第一問（普通科・災害科学科共通）

酸性雨をはじめとする環境問題の解決や，国際平和の維持のために行われる国際的な取り組みを理解し，その意義を考察する力を問う。

第二問（普通科）

表の内容を的確に読み取り，本校のE S Dプログラムに取り組む上で求められる資質・能力を明確に論述する力をみる。

第二問（災害科学科）

表の内容を的確に読み取り，震災遺構保存の意義について自分の考えを明確に論述する力をみる。